

クッションの紹介

担当：理学療法科、リハビリテーション工学科

当院でよく利用されているクッションを紹介します

【ラテックス】 昭和のころから今でも使われているクッションです。



利点：調整の必要がない

欠点：時間の経過とともに劣化し、圧力分散性能が低下する

【ロホ】 空気質構造で最もよく使われているクッションです。いろいろな種類があります。



利点：洗浄が容易

欠点：パンクすると圧力分散ができなくなる

空気量の調整が必要→空気は適量にしましょう

空気の入れ過ぎに注意！

【ジェイ】 ゲルとウレタンをあわせたクッションが主です。いろいろな種類があります。



利点：ベースの加工ができる

欠点：点検が必要（坐骨がゲルのところに乗っているか、ゲルが下のベースの定位置に止まっているか、底付きしていないか）

重い

【バリライト】 空気室構造とウレタンをあわせたクッションです。いろいろな種類があります。



利点：形状が崩れず、持ち運びしやすい、洗浄が容易

欠点：空気量の調整が必要、

【その他】

クッションは上記のほかに様々な種類があります。それぞれに利点と欠点があるので、自分にあったものを探すことが大切です

【よくある質問】 どのクッションが最もよいですか？

これが最もよいというものはありません。大切なことは使う人に最も適したクッションを選ぶことです。どのクッションにも特徴がありますので、適合とチェックを行うことをお勧めします。

除圧動作の紹介

- ◆ 15分に1回, 1回当たり15秒がおすすめです。
- ◆ 導尿、移乗も除圧動作になります

このような除圧動作があります



立ち上がり



体を横に倒す



体を前に倒す



プッシュアップ



リクライニング



ティルト

車椅子以外に気をつける場面を紹介します

- ◆ **自動車**: 薄くて安定性のあるものが好まれます。
- ◆ **便座**: やわらか便座が便利です。その他に口ホ、アクションパット、便座シートなどがあります。
- ◆ **浴室**: 洗い場はバスマットが便利です。
- ◆ **旅行に行くとき**: 事前に情報収集をして状況を確認しましょう。その上で持参するものを検討しましょう。携帯用に便座シート、お尻保護マットなどがあると便利です。通常の生活と変わるので体位変換をこまめに行うなど、普段よりも気をつけましょう。